
涼宮ハルヒコの氷結(仮題)

海龍会

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

涼宮ハルヒコの氷結（仮題）

【Nコード】

N5393Z

【作者名】

海龍会

【あらすじ】

あなた方が知ってるキョン子はどんなキャラ？

この小説に出てくるキョン子はダルデレではありません、貧乳ではありません、普通の人間ではありません、古泉と百合ってます。

プロローグ（前書き）

これはプロローグです。

アニメのキョンのプロローグを丸パクリしています。

ブローグ

サンタクロースをいつまで信じていたかなんて他愛もない世間話にもならないどうでも良い話しなだけど、それでもあたしがいつまで信じていたかというところは確信を持って言えるが最初から信じてなんかいなかった。

幼稚園のクリスマスイベントに現れたサンタは偽物だと理解して、母親がサンタと仲良く談笑しているところを目撃したわけでもないのにクリスマスにしか仕事しないニートお爺さんの存在を疑っていた可愛げの無いあたしなだけど、宇宙人や未来人や幽霊や妖怪や超能力者や悪の組織やそれらと戦う戦隊的改造人間的ヒーローたちがこの世に存在しないことに気付いたのは相当後になってからだった。

…いや、本当は気付いていたんだろう。ただ気付きたくなかっただけなのだ。あたしは心の底から宇宙人や未来人や幽霊や妖怪や超能力や悪の組織が目の前にふらりと出てきてくれることを望んでいた。

しかし現実つてのは厳しいね。世界の物理法則がよくできていることに感心しつつ、いつしかあたしはテレビのUFO特番や心霊特番をそう熱心に見なくなつた。宇宙人？未来人？超能力？そんなの居るわけ無い無い。…でも、ちょっとは居てほしい、みたいな最大公約数的な事を考えるまでにいたつていた。

中学二年の頃には、あたしはもうそんな子供のような夢を見ることから卒業して、この世の普通さにもなれていた。…十五の誕生日にあの話を聞いていたら今喪だったのかもしれないが…

ま、それは後々話す事として、そんな事を頭の片隅でぼんやりと考えながらあたしは高校生になり…

… 涼宮ハルヒと出会った

プロローグ（後書き）

早めに更新したいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5393z/>

涼宮ハルヒコの氷結(仮題)

2011年12月18日09時51分発行